

横浜市立大学 国際総合科学部再編について

1 趣旨

本市が定めた第3期中期目標に基づき、公立大学法人 横浜市立大学(以下、法人)の第3期中期計画において位置づけられた、「国際総合科学部の再編」について、文部科学省の届出受理を経て、平成31年度に実施する予定です。

<第3期中期目標(本市)>

急速に進む時代の変化や学生の多様なニーズに柔軟に対応するため、社会ニーズに応えることができる教育組織について検討を進める。

<第3期中期計画(法人)>

国際総合科学部を国際教養学系・国際都市学系、経営科学系、理学系を母体とした3学部にも再編する。

※中期目標(地方独立行政法人法 第25条)

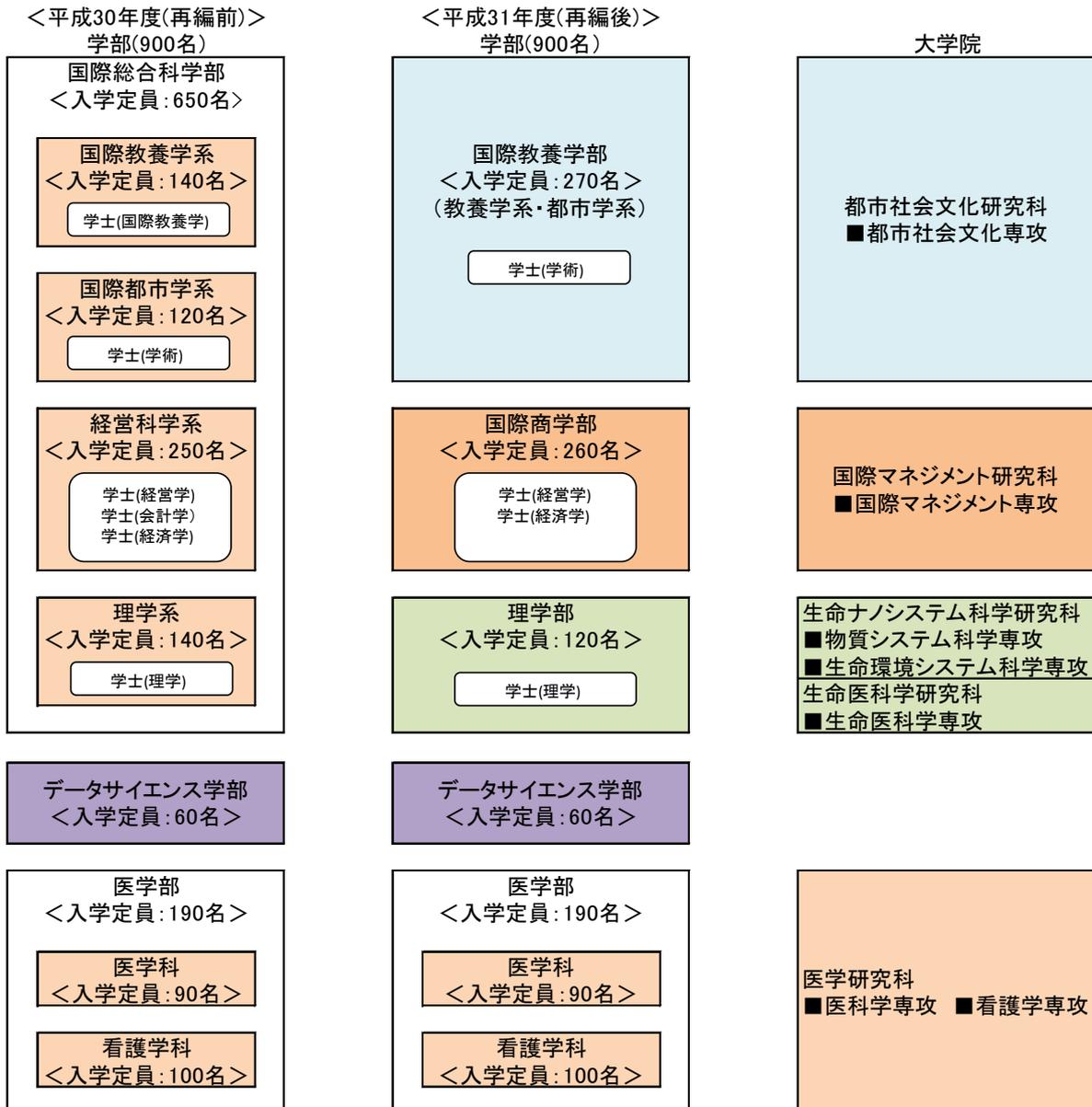
法人の設立団体である本市が定める、法人が達成すべき業務運営に関する目標

※中期計画(地方独立行政法人法 第26条)

中期目標を達成するために法人が定める計画で、本市の認可を受けたもの

2 国際総合科学部再編(案)

※カッコ内は募集人員



3 再編後の新学部及びその特長

<再編のコンセプト>

- (1) 教養教育を土台とした専門性の深化
- (2) 国際社会に対応するためのグローバル教育の強化
- (3) 学部から大学院につながる体系的な学びの可視化

ア 国際教養学部【入学定員 270 名】

確かな専門性に裏打ちされた論理的思考力を身に付ける「教養学系」と、世界と日本の都市や地域の課題に実践的に取り組む「都市学系」という2つの学系での学びを通して、多角的で深い思考力と高い言語能力を備え、主体的に社会に貢献できる人材を育成します。

- (ア) 教養学系、都市学系、の2つの学系と少人数教育で養う国際教養力
- (イ) 専門性の深さと教養の幅を広げる4つの科目群
- (ウ) 外国語運用能力を高め、海外・国内実習で国際力と実践力を身に付ける

イ 国際商学部【入学定員 260 名】

グローバル企業に必要な経営管理能力、新事業を創造する企画立案力、マネジメントの高度な実学能力を養います。ビジネスの国際的な共通言語である経営学・経済学を学び、ビジネスの現場で役立つ確かな英語力を持ち、実業界や公的機関で幅広く活躍する職業人を養成します。

- (ア) 英語で学ぶ専門科目で、ビジネスに強い英語力を強化
- (イ) 海外で実践力を養う、海外インターシップの充実
- (ウ) データ分析、起業、医療経営など多様な専門性を育成

ウ 理学部【入学定員 120 名】

物理・化学・生物といった自然科学の基礎全般を学ぶことで、物質科学的概念を持ちながら、細胞・個体スケールの生命現象をとらえることができる人材、生命現象を原子・分子スケールで起こる物理・化学現象としてとらえることができる人材、そして、医学・農学・工学などとの連携研究にも積極的に挑戦できる人材を育成します。

- (ア) 物質科学や生命科学、およびこれらの融合領域の専門知識を学修する
- (イ) グローバルな研究マインドと実力を身に付ける「国際リトリートプログラム」
- (ウ) 1年次から研究活動を行う「理数マスター育成プログラム」

4 今後の主な予定

- 平成 30 年 4 月 学部再編の届出を文部科学省へ提出 (⇒6月末ごろ 届出受理の決定)
9 月 市会定例会において、学部再編に伴う中期目標の変更議案を提出
10 月 再編後の学部で学生選抜(入試)開始
平成 31 年 4 月 学部開設